

1 美術を学ぶねらい

美術作品や文化遺産、自然などの美しさや良さを感じ取ったり、豊かに発想し工夫する能力を身につけ、制作の喜びを味わうことによって自分の生活を豊かにできる力を養う。

2 学習方法

- ①美術に関心をもち、説明を聞いたり、積極的に制作ができるようにする。
- ②表現するためのプロセスを大切に、多くのアイディアスケッチを描かせる。
- ③表現方法の工夫を考えさせ、計画的に完成させる。

3 持ち物・忘れ物などについて

●持ち物

- ・絵の具セット、資料集等 ※購入したバッグに、全て一緒に入れて忘れ物がないようにする。
- ※特別な持ち物は、早めに連絡します。しっかりとメモをして忘れないようにしましょう。

4 学習の評価内容と評価方法

①知識・技能

【作品・ワークシート・定期考査】

②思考・判断・表現

【作品・アイディアスケッチ・定期考査】

③主体的に学習に取り組む態度

【作品・授業での取り組み・スケッチブック等】

5. 先生からのアドバイス

自分らしさを大切に、簡単にできることやあきらめることを選ぶのではなく、心のこもった作品作りをしてください。自分のできることを精一杯やり、計画的に期限内に仕上げましょう。
分からないことは自分から質問しましょう。

6 美術科 3年 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4	・オリエンテーション ・日本美術の鑑賞授業 ※修学旅行	・授業内容や授業の受け方 ・作品や作家について興味を持ち意欲的に学習することができる	・授業での取り組み ・作品 ・ワークシート
	5	・透視図法の学習 「1点透視図法シート」	・プリントやノートに自主的に話の内容をメモできる。 ・1点透視図法を理解し、正しく描くことができる。	・ノート(板書) ・定期考査
	6	「2点透視図法シート」	・2点透視図法を理解し、正しく描くことができる。	
	7	・透視図デザインの アイディアスケッチ制作	・透視図法を用いて、自分なりの形を表現することができる。	
2	9	・西洋美術史の鑑賞授業 ※印象派	・作品や作家について興味を持ち意欲的に学習することができる	・授業での取り組み ・作品
	10	・砂絵による透視図デザイン 制作	・プリントやノートに自主的に話の内容をメモできる。 ・アイディアスケッチをもとに、細かいところまで丁寧に正しい線で下絵を描くことができる。 ・カッターを使いこなし、細かい所まで丁寧に制作することができる。	・アイディアスケッチ ・ワークシート ・ノート(板書) ・定期考査
	11		・イメージ通りに美しく砂で彩色することができる。	
	12		・砂を混ぜて様々な色を作るなど、色彩の工夫ができる。	
3	1	・アートガラス制作 「写真ファイル」	・丁寧に絵を描き写すことができる。	・授業での取り組み
	2		・ニードルを使いこなし、美しく細かくスクラッチすることができる。 ・黒を基調とした色彩の工夫ができる。	・作品 ・ワークシート ・定期考査
	3		・デザインのイメージ通りに美しく彩色することができる。	